

「第3回 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」が開催されました

徳島県内では、兵庫県豊岡市周辺以外では全国で初めてコウノトリが野外繁殖に成功しました。また、大陸から飛来・越冬するツル類の数が増加していることから、全国的・国際的に重要な生態系ネットワークの拠点として注目が高まっています。

こうした背景から、平成29年10月に吉野川流域における河川を軸とした生態系ネットワーク形成の実現化に向けて、多様な主体との連携・協働方策等を検討するため、「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。

現在、コウノトリ・ツル類は、徳島県内の各流域で飛来が確認されるようになってきていることから、令和3年1月には発展移行させ、徳島県全域を対象とした「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。

今回は、「第3回徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を開催しました。



- 1.開催日時：令和5年2月9日（木）14：00～16：00
- 2.参加者：協議会構成員及び徳島県内の経済・観光等の有識者
- 3.開催場所：徳島県郷土文化会館（あわぎんホール）小ホール
- 4.内 容：



- (1) 徳島県内でのコウノトリ・ツル類の
飛来・生息状況について
- (2) 徳島県内での取組状況について
- (3) 今後の取組について



○ これまで2つのワーキングを共に8回ずつ実施検討してきた一方で、津慈地区の湿地の管理主体者が未確定であることから、管理運営に関する具体の整備等について確定させることを目指した「鳴門津慈地区管理運営ワーキング（仮称）」を新たに設置し、地域の管理に関わっていただける各々の立場から、将来の管理運営手法と施設整備等を定めていく方針を提案しました。